I-O DATA

# USB2-PCIL4

# 1 はじめにお読みください

M-MANU200028-02

## 箱の中には

箱の中のものを確認します。

□にチェックをつけながら、ご確認ください。

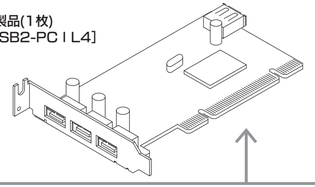
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

**箱・梱包材は**
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

**イラストについて**
実物と若干異なる場合があります。

□ 本製品(1枚)
[USB2-PCIL4]



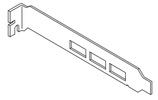
**■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて**

▼ ここにシリアル番号をメモしてください。

| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | | |

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。(例:ABC1234567ZX)
シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。
●ユーザー登録　http://www.iodata.jp/regist/
●サポートソフトのダウンロード　http://www.iodata.jp/lib/

□ PCIL用取付金具



☑ はじめにお読みください（本書：1枚）

□ セットアップガイド（1枚）

□ USB2-PCIL4サポートソフトウェア［CD-ROM］（1枚）

## 動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

**●対応機種および対応OS**

| 機種※1※2 | OS(日本語版のみ) |
|---|---|
| DOS/Vマシン | Windows Vista®<br>Windows XP Service Pack 1以降※3<br>Windows 2000 Service Pack 4以降※3<br>Windows Me、Windows 98(SE含む) |

※1　PCI Rev.2.1以降に対応したPCIバススロットに空きがあること。
※2　弊社ではOADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※3　Service Packの確認方法については別紙【❷セットアップガイド】を参照ください。
※以下の機種を除きます。
NEC VALUESTAR NX VC500J、VC550J、VC600J、VC750J
NEC VALUESTAR C VC667J、VC733J、VC800J、VC800H
NEC PC98-NX Fine NX
FUJITSU FMV DESKPOWER SE(FMV-5133DPS)、SP(FMV-5150DPS)
HP/COMPAQ 99年秋冬モデル Presario 3566/3567/3576/3581/3590
2000年春モデル Presario 3560/3562/3570/3580
EPSON EDICube TC535MN TC535MR TC535MRN TC535LN
TC535LR TC535LRN
SiS530チップセット搭載パソコン

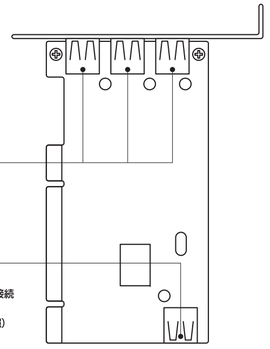
注意
●本製品を同時に複数枚取り付けることはできません。
複数枚取り付けた場合の使用については、動作保証いたしかねます。
●パソコンのスタンバイ・休止状態などの省電力機能を使わないでください。本製品は、ACPI機能には対応しておりません。手順については右の【スタンバイ機能を無効に設定する】参照。

## ハードウェア仕様

| | |
|---|---|
| 使用するIRQ(割り込み) | PCIシステムによる自動設定 |
| メモリアドレス | PCIシステムによる自動設定 |
| 動作温度 | +5℃～+55℃<br>(パソコンの動作する範囲であること) |
| 動作湿度 | 20%～80%(結露なきこと) |
| 電源電圧 | +5V |
| 消費電流 | 5V　420mA(Max)　350mA(定格)<br>※USBポートへの供給電流含まず |
| 搭載USBポート数 | 4つ(外部3+内部1) |
| USBポート1ポート当たり供給電源 | 500mA(Max)<br>※お使いのパソコンの電源能力によっては、仕様を満たせない場合があります。 |
| 本体サイズ | 119.9(W)×62.0(D)mm<br>※スロットカバー/コネクタ部含まず |

## 各部の名称・機能

コネクタの名前と機能を説明します。



注意 ●接続ケーブルについて
本製品には、USBケーブルは添付しておりません。別途ご用意ください。

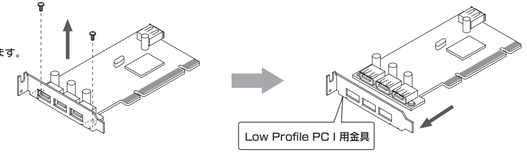
**外部USB ポート**
外付けUSB機器を接続します。
※別途USBケーブルが必要です。

**内部USB ポート**
内部USB機器を接続します。
弊社製別売オプション「GV-FRONT」のUSBコネクタと接続すれば、GV-FRONTのUSBコネクタが有効になります。
(別紙❷セットアップガイド【2.パソコンに取り付ける】参照)
※別途USB 2.0ケーブル(Aプラグ・Bプラグ)が必要です。

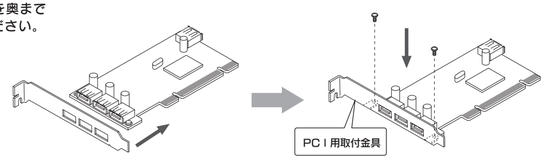
## PCIパソコンでお使いになる場合

本製品をPCI搭載パソコンでお使いになりたい場合は、
パソコンに取り付ける前に、本製品の「Low Profile PCI用金具」を添付の「PCI用取付金具」に交換する必要があります。

❶ 本ボードの取り付け金具を取り外します。
プラスドライバを使ってネジを取り外します。
※取り外した金具は大切に保管してください。




❷ 添付の「PCI用取付金具」を奥まで取り付けてネジ止めしてください。




## 用語

**ACPI(Advanced Configuration and Power Interface)［エーシーピーアイ］**

Intel、Microsoft、東芝、Compaq、Phoenixが共同で開発し、発表されたパソコンや周辺機器の電力管理を行なうための規格。
ACPIは、電力管理をOS側で一元管理する。ACPI対応であれば、接続した周辺機器の電力まで、OSで管理することができる。

**Low Profile PCI［ロー プロファイル ピーシーアイ］**

PCI SIGが策定した、小型のPCI拡張カード規格。
Low Profile PCIでは、カードの高さを64.41mmに制限。スリムタイプのパソコンや2U(88mm)のケースに取り付けられるようになっている。
奥行き方向に関しても、スロットまでが119.91mmのMD1と、167.64mmまでのMD2の2つのサイズが規定されている。

## スタンバイ機能を無効に設定する

本ボードは、WindowsのACPI機能には対応しておりません。
従って、本ボードを取り付けた状態では以下の点にご注意ください。

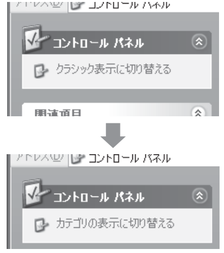
**●スタンバイ機能は無効に設定してください。**

❶［スタート］➡［設定］➡［コントロールパネル］を順にクリックします。
(Windows Vista®/XPの場合は［スタート］➡［コントロールパネル］をクリック)

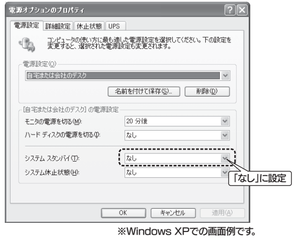
❷［電源オプション］アイコン(または［電源の管理］アイコン)をダブルクリックします。




※Windows XPでカテゴリ表示になっている場合は、［クラシック表示に切り替える］をクリック後、［電源オプション］をダブルクリックします。




❸［電源設定］タブの［システムスタンバイ］の設定を［なし］に設定してください。
(［システムスタンバイ］の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はいりません。)




※Windows XPでの画面例です。

●［スタート］➡［Windowsの終了］（または［終了オプション］、［シャットダウン］）➡［スタンバイ］は実行しないでください。
(［スタンバイ］が表示されない機種もあります。)

## USBについて

**●USB［Universal Serial Bus］とは?**

USBは、キーボードやマウスなどさまざまな周辺機器を接続するために利用されています。USBでは、電源を切らずにUSB機器の抜き差し(Hot Plug)ができます。
USBには、バージョン1.1(1.0)とバージョン2.0があります。
1.1は、Low,Full Speedに対応し、2.0はLow,Full,High Speedに対応しています。転送方式については以下をご覧ください。

**●転送方式**

本製品は、下表の転送方式に対応しています。
転送方式は接続するUSB機器によって異なります。

| 転送方式 | スピード※1 | | | 主な用途 |
|---|---|---|---|---|
| | High | Full | Low | |
| アイソクロナス | ○ | ○ | — | ビデオカメラやスピーカー |
| インタラプト | ○ | ○ | ○ | キーボードやマウス |
| バルク | ○ | ○ | — | プリンタやスキャナ |
| コントロール | ○ | ○ | ○ | デバイス制御用 |

※1 [High]スピードが利用できるのは、USB2.0のみです。
USB1.1では、[Full]および[Low]スピードのみ可能です。
(USB2.0では、[High][Full]および[Low]のすべてのスピードが可能)

**●最大スピード**
■High Speed = 480Mbps　■Full Speed = 12Mbps
■Low Speed = 1.5Mbps

**●転送方式の詳細**
■アイソクロナス転送:マルチメディア用に一定の帯域を保証する転送方式
■インタラプト転送:定期的にUSB機器に問い合わせをする転送方式
■バルク転送:不定期に行なわれる一般的なデータ転送を想定した転送方式
■コントロール転送:USB機器の環境設定を行う転送方式

**●電源によるUSB機器の分類**

USB機器は、使用する電源により下表のように分類されます。

| USB機器の分類 | | 電源 | 消費電流 |
|---|---|---|---|
| バスパワードデバイス | ハイパワーデバイス | USBポート | 100～500mA |
| | ローパワーデバイス | | 100mA以下 |
| セルフパワードデバイス | | 電源コンセント | — |

**●接続**

本製品には、最大127台までのUSB機器が接続可能です。
ただし、USBポートの数を超えてUSB機器を接続する場合は、別途「USBハブ」が必要となります。(USBハブもUSB機器の1台となります。)
USB 2.0機器を接続する場合はUSB 2.0ハブ、USB 1.1機器を接続する場合はUSB 1.1ハブを使用します。
末端のUSB機器と本製品の間には最大5台までのUSBハブを接続することができます。

参考

**USBハブにUSB機器を接続する場合は**
USB機器をUSBハブに接続する際には、下の項目をご確認ください。
●USBハブが供給できる電力
●USB機器がUSBポートから消費する電力

# 安全のために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

## 警告表示の意味

**⚠警告**
この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。

**⚠注意**
この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

| 行為を禁止する記号 | 注意を促す記号 | 行為を指示する記号 |
|---|---|---|
| 禁止　分解禁止 | 発火注意　感電注意 | 電源プラグを抜く　厳守 |

## ⚠警告

発火注意　感電注意

**煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。**
電源プラグを抜く
パソコンの電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

**本製品を修理・改造・分解しないでください。**
分解禁止
火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

**本製品を取り付ける場合は、必ず別紙「②セットアップガイド」で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。**
厳守
●接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因となります。
●接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルからの発煙や、火災の原因となります。
●指定されたPCIバススロットに水平に入れ、奥のコネクタまできちんと差し込んでください。正しく装着されていないと火災および故障の原因となります。

**本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず別紙「②セットアップガイド」で取り付け/取り外し方法をご確認ください。**
厳守
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

**本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。**
禁止
火災・感電の原因となります。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

## ⚠注意

**本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。**
注意
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

**本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。故障の原因になることがあります。**
禁止
《使用時/保管時の制限》
●振動や衝撃の加わる場所
●湿気やホコリが多い場所
●熱の発生する物の近く（ストーブヒーターなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●腐食性ガス雰囲気中（Cl2、H2S、NH3、SO2、NOXなど）
●直射日光のあたる場所
●温度差の激しい場所
●傾いた場所
●静電気の影響の強い場所
《使用時のみの制限》
●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

**本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。**
禁止
●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

**本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。**
厳守
静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

# 保証規定

## 1 保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証規定の記載内容に基づき、無料修理または、弊社の判断により同等品への交換をいたします。修理のため交換された本体もしくはユニット単位の部品はお返しいたしません。

## 2 保証対象

保証の対象となるのは製品の本体部分のみで、添付ソフトウェアもしくは添付の消耗品類は保証の対象とはなりません。

## 3 修理依頼

修理を弊社へご依頼される場合は、製品とハードウェア保証書を弊社へお持ち込みいただけますようお願いいたします。送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。また、発送の際は必ず宅配便をご利用いただき、輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。

## 4 保証適応外

保証書をご提示いただきましても、次の場合は有料修理となります。
1) ご購入日から保証期間が経過した場合。
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合。
3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、販売店欄（保証期間が無期限の製品は除く）など）が未記入の場合、または字句が書き換えられた場合。
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害、その他の天変地変、公害または異常電圧による故障もしくは損傷。
5) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取り扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷。
6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器に起因する故障もしくは損傷。
7) 取扱説明書に記載の使用方法または注意に反するお取り扱いに起因する故障もしくは損傷。
8) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合。
9) その他弊社の判断に基づき有料と認められる場合。
10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外での使用。

## 5 弊社免責

本製品の故障、または使用によって生じた保存データの消失など、直接および間接の損害について、弊社は一切の責任を負いません。

## 6 保証有効範囲

ハードウェア保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※ハードウェア保証書は、ハードウェア保証書および本保証規定に掲示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
ハードウェア保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

**お願い**
本商品および本商品の取扱説明書の内容の一部または全部を、弊社の許諾なしに複製することはできません。ハードウェア保証書は所定事項が記入されることにより有効となります。本商品は、将来改良のため予告なく変更する場合があります。本商品、またはこの一部をご利用になる商品を販売される場合は弊社営業までご相談ください。

取扱説明書などの注意書きにしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、商品とハードウェア保証書をご持参ご提示の上、お買い求めの販売店または弊社（修理センター）にご依頼ください。

# お問い合わせ

**本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。**

**① 弊社ホームページをご確認ください。**
サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」をご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

製品Q&A、Newsなど
**http://www.iodata.jp/support/**

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

最新サポートソフト
**http://www.iodata.jp/lib/**

**② それでも解決できない場合は…**

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　　アイ・オー・データ第２ビル
　　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…**076-260-3688**　東京…**03-3254-1095**
　　※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

### お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のサポートソフトのバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。
また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

# ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

# 修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

**●内部のデータについて**
■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。(厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。)
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
■弊社では、データの修復は行っておりません。

**●お客様が貼られたシールなどについて**
修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

**●修理金額について**
■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、「保証規定」の「保証適応外」の内容に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。(ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。)修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

### 修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

**●メモに控え、お手元に置いてください**
製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

**●これらを用意してください**
■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
■下記の内容を書いたもの
返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］、日中に連絡可能な電話番号、使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

**●修理品を梱包してください**
■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

**●修理をご依頼ください**
■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

**【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地**
**アイ・オー・データ第２ビル**
**株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛**

# 廃棄について

**本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従ってください。**

# 商標について

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。


デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2009.5.15 発行


Copyright (C) 2009 I-O DATA DEVICE, INC. All Rights Reserved.